

私立高校無償化 平成31年度以降も継続を がん先端治療 府独自の支援制度を 9月定例会 公明党府議団代表質問より

9月27日に始まった平成29年9月定例会で、公明党大阪府議会議員団は府政の諸課題に対し、府民の立場から議論を進めています。また、10月4日には大橋章夫議員(政調会長、枚方市選出)が代表質問に立ち、がん先端治療の支援制度や、私立高校無償化などについて質疑・質問をしました。主な内容は以下の通りです。



▲代表質問する大橋議員

府財源は教育の拡充に 私立高校無償化に国費投入なら

公明党府議団は平成23年度から府が実施している私立高校の授業料無償化制度を31年度以降も維持・拡充するよう今議会の代表質問でも求めています。府は大阪の教育力向上につながっているとしたうえで、31年度以降も制度の根幹を維持し、拡充も検討すると答えました。

11月6日の総務常任委員会の知事質問で公明党が国による私立高校の無償化を衆院選で訴えたことを踏まえ、実現した際に生み出される府の財源は教育に限定して使うべき、と指摘。知事は「仮に実現すれば、大阪を支えてくれる次世代のための財源に使いたい」としました。

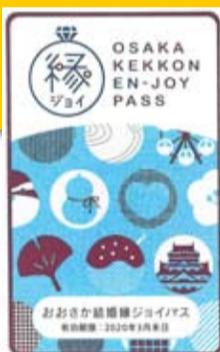
がん患者の経済的な負担を軽減へ

大阪国際がんセンター(大阪市中央区)の隣接地に平成30年3月開設予定の重粒子線がん治療施設は「がん患者への身体の負担が少ない最先端治療であり、期待も大きい」と指摘。その上で治療費が高額であり、患者の経済的負担を軽くする府独自の制度を創設すべきと迫りました。府は先行事例を参考に、金融機関の協力も得ながら検討する考えを示しました。

◀来年3月開所予定の重粒子線治療施設

特典付きパスで新婚の皆さんを応援 婚活イベントも公明が実現

結婚支援について、経済負担の軽減や機運醸成に向け、府内在住の新婚世帯や今後1年以内に結婚を予定しているカップルを対象に11月1日「おおさか結婚縁ジョイパス」ができました。協賛店で提示すると特典があります。また、民間事業者との事業連携協定に基づき、婚活イベントもすでに2回開催しました。どちらも公明党府議団が実現に向け、府に働きかけていました。



▲縁ジョイパス

万博誘致の機運盛り上げへ 絵画展の作品を展示

2025年の万国博覧会の大阪誘致に向け、国民全体に見えるアピールや情報発信の重要性を訴えました。府は誘致委員会と連携し、全国から2000点以上集まった万博絵画展の子どもたちの作品を空港や鉄道駅などで展示し、大阪・関西の機運の盛り上げを目に見える形で発信し、全国に広げていくとのこと。絵画展は公明党府議団の提案で実施しました。

「殺処分ゼロ」へ 犬・猫の譲渡を推進

「殺処分ゼロ」を目指し、8月に開所した府動物愛護管理センター、「アニマルハーモニー大阪」での犬や猫などの譲渡に向けた取り組みについてただしました。府は土日祝日も開所し、幅広い世代に来てもらえるようにしていることや、譲渡前の講習会、譲渡後の相談対応など一貫した支援をする、と答えました。



▲8月に開所したアニマルハーモニー大阪



▲猫の室内飼育体験施設(アニマルハーモニー大阪内)

・討論より・

11月8日の本会議で上程議案などに対し、公明党府議団の意見を表明する「討論」をしました。概要は以下の通りです。

- 年明けの博覧会国際事務局(BIE)の現地調査で、大阪で万博を開催すべきだとの確信を持ってもらえるよう万全の準備を。
- 2019年に開催される20か国・地域首脳会合(G20)は世界に大阪の存在感をアピールする絶好の機会。府は確実に誘致を勝ち取ってほしい。
- 大阪府立大学と大阪市立大学の合併に向け、人材育成をはじめ具体的なビジョンが必要。適切な情報発信も。
- 重粒子線がん治療施設の治療費補助制度の創設など、府は患者支援でも日本一を目指すべき。
- ギャンブルなどの依存症対策は全庁的な推進体制を整備し、計画やガイドラインの策定、条例制定など未然防止を含めた総合的な取り組みを。
- 少子化対策で教育の支援は重要。国による私立高校の授業料無償化制度が実現した場合、生み出された一般財源は教育支援や教育環境の充実に最優先に振り向けるべき。

公明党大阪府議会議員団ホームページはこちら。
▶ <http://www.komei-fu.com>